

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-25 □支援部門		樹林維持管理事業				
主管課	公園課	関連課					
分野名	みどり						
目標 (目標値)	樹林を適正に管理することにより、緑豊かな都市づくりを目指す。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	12,416	13,934	15,649			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	12,416	13,934	15,649			
	人員配置数	0.7	0.7	0.7			
	人件費(千円)	5,561	6,086	5,961			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	17,977	20,020	21,610			
	市民1人当りの経費(円)	101	113	122			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
		実績値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
樹林維持管理事業	12,416千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	古都保存法等の指定を受けている山林所有者の管理に対する負担の軽減を図る。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	申請を受けて事業実施を行うことから、件数が多くなるなど申請の状況によっては、その全てに対応できない場合がある。		
課題解決のための取組	極力現地において山林所有者と立ち会い、現場の状況を鑑み、優先順位をつけて要望を受け、業務を実施した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	市から当該年度対象者宛ての通知が宛先不明で返送されてしまうものがあり、実施まで至らない場所がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		樹林地としての機能が充実するよう、今後も山林所有者の理解と協力を求めながら、適正な維持管理に努めていく。また、申請、要望に速やかに対応できる体制づくりや山林所有者の所在が不明の場合の対処方法について検討する。	課長等名 ↓ A 公園課担当課長 館下 優三
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			

